

広島県 広島県高等学校退職校長会

結成 平成18年7月2日

昭和40年7月23日に広島県退職校長会が結成された。平成元年1月23日、広島県内を5ブロックに分け、高等学校は高校ブロックとなった。本会は、組織・運営・活動等のより一層の充実・推進をめざして、平成18年7月2日の総会にて広島県退職校長会から独立し、広島県高等学校退職校長会を結成し現在に至っている。

この会の目的は、国及び広島県の教育の振興に寄与するとともに会員相互の親睦を深め、その福祉の増進に努めることにある。会員は、広島県内の高等学校並びに、盲・聾・養護学校又は特別支援学校の校長職にあった者をもって組織し、該当者のほぼ100%が加入している。



【広島県三次市・鳳源寺】
福山支部研修旅行 平成26年11月29日

組織・運営・活動として、総会（年1回）・本部役員会（4回）・教育委員会との教育意見交換会を実施している。総会は各支部の持ち回りとし、支部活動の充実及び会員の所属意識を高めることに努めている。支部は5つに分かれており、組織や活動は支部ごとの特徴・構想等をふまえて、それぞれ役員会・総会・現職校長との教育懇談会を開催し、継続的な会誌の発行や会員の親睦を図る研修旅行等、個性豊かな組織や運営がなされている。

特に、教育懇談会は、退職校長会として学校現場の教育に少しでも役立ちたいという願いからはじめた試みで、支部ごとに年1回実施し、現職校長の意向を大切にした研修内容となるよう企画し、現職校長の支援を中心として実施している。最近実施した主なテーマは、「発達障害児（者）の理解とその支援」「広島県における今後の高等学校教育の在り方について」「今後の高校教育を考える ～教育の質の向上をめざして～」 「今後の教育改革の方向性について」等直面している課題についての研修が多い。

広島県では、全県的規模での高校の適正配置の推進、少子高齢化・過疎化が進む中山間地域の高校教育の充実・発展を課題として、今後の高校教育を模索し、教育改革の推進に取り組んでいる。

退職校長会としても、学校現場のニーズに柔軟に対応するという基本的な姿勢をもちながら、地道な活動を続けている。



第3回役員会 平成26年12月5日